

令和2年度まちづくり市民活動補助金事業

団体名	望郷の森 実行委員会
事業名	新型コロナウイルス感染症による外出自粛で 自由な時間や表現活動が減少した子どもたちのための事業

◇部門

まちを元気にするための活動 / いきいきと暮らすための活動

◇事業の目的

新型コロナウイルス感染症の自粛要請の影響により子どもたちの自由な時間や表現活動は大幅に減少している。北海道大学が行なったアンケート調査によると 8 割以上の保護者の方が、子どもたちにそのような機会が必要だと感じている結果が出ている。恵那市内においても同様で、外出規制が長引き STAY HOME せざるを得ない状況が続いていた。

そのために本事業を通じて、自粛要請が解除され、活動ができる夏の期間に、恵那市内の小学生から高校生に対して望郷の森を解放し、自然の中で自由に時間を過ごす機会/表現活動の機会をしていく。それにより恵那市の子どもたちの余暇の時間の創出し、心身の健康や成長をサポートしていく。また地域の子どもたち自身に地域の魅力を体感してもらい機会にもつながり、長期的に地域で活躍してもらうことにも繋がると考える。

◇事業の内容



小学生～高校生の子どもに豊かな自然の中で表現活動の機会を

自粛要請が解除され、活動ができる夏の期間に、恵那市内の小学生から高校生に対して自然の中で自由に時間を過ごす機会/表現活動の機会作りを行なった。コロナ禍で状況が変わる中で企画を何度も軌道修正し、なんとか開催することができた。

小学生から高校生が集まり、ゲストとのアーティストと共に自然の中の遊びを通じて表現活動を行うことができた。夜には集まった子ども同士や、アーティストとの直接対話、生演奏を通じて、交流を行なった。

◇事業の効果



終了後に、子どもたちははじめ保護者の方から大きな反響をいただくことができた。本事業を通じてコロナ禍でなかなか持てなかった子どもたちの自由な表現活動の時間の創出し、心身の健康や成長をサポートできたと考える。また地域の子どもたち自身に地域の魅力を体感してもらう機会にもつながり、長期的に地域で活躍してもらうことにも繋がると考える。

望郷の森ではこれまでさまざまなイベントを開催してきたが、今回のように子どもたちとアーティストと一緒に遊ぶ活動は初の試みだった。その結果は子どもたちや保護者の方から大変反響があるものであった。特にコロナ禍ではこのような体験が求められていると痛切に感じたため、今回のきっかけとして、定期開催していき、より多くの子どもたちに機会を提供していきたい。

◇活動経費

- ・事業総費・・・429,898 円
- ・補助金・・・400,000 円